INAX

アメージュ脱臭シャワートイレ

	標準	流動式	水抜式
	D(B)C-8812S	D(B)C-8812SWF	HBC-8812SN
	D(B)C-8512S	D(B)C-8512SWF	HBC-8512SN

安全のために守ってください!

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。シャワートイレの取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定されます。

注意……取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定されます。

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

アースを確実に取り付けてください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※アースの取付けは、電気工事店にご相談ください。

⚠注意

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、ショート・発火の原因となります。

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

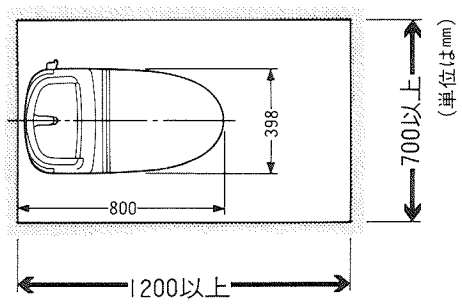
電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。

漏電保護プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の漏電保護プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。

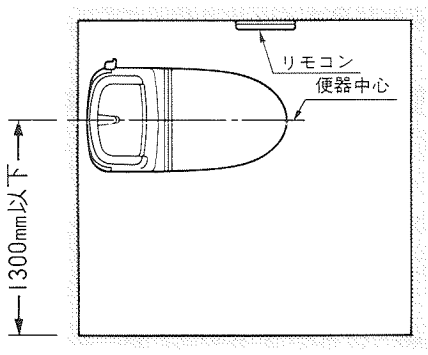
施工前のご注意

トイレスペースについて

トイレスペースは下図寸法が必要です。



このシャワートイレは、リモコンを便器に向って左側設置するのが標準です。リモコンを下図のように、便器に向って右側設置する場合には、シャワートイレ・便器中心からリモコン対面壁までの寸法を1300mm以下としてください。手洗・洗面器の併設により1300mmを越える場合には、1300mm以下でスクリーン（間仕切り）を設置してください。なおスクリーン寸法は高さ1100mm以上、奥行はリモコン設置位置までの距離を確保してください。



水質について

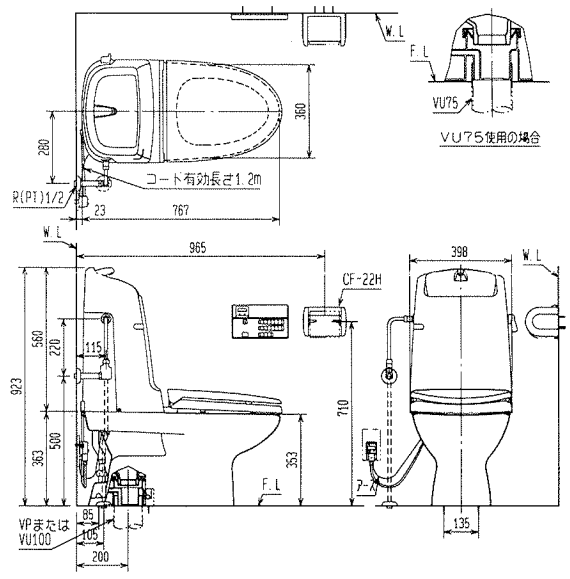
使用する水に不純物（海岸近くの井戸水には塩素イオン、硫酸イオン、浮遊物が特に多く含まれている場合があります。）が多く含まれていると、電気部品や機械部品の耐久性が低下しますのでご注意ください。

電源接続について

- 電源はＡＣ100Ｖ、最大定格680Wに適した電気配線をしてください。
- 電源コードの長さは1.2ｍです。コンセントは電源コードの届く、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
- 必ずアース工事（第３種接地工事）を行ってください。アースターミナル付コンセント（フラット型）が便利です。

※配線工事は電気工事店にご依頼ください。

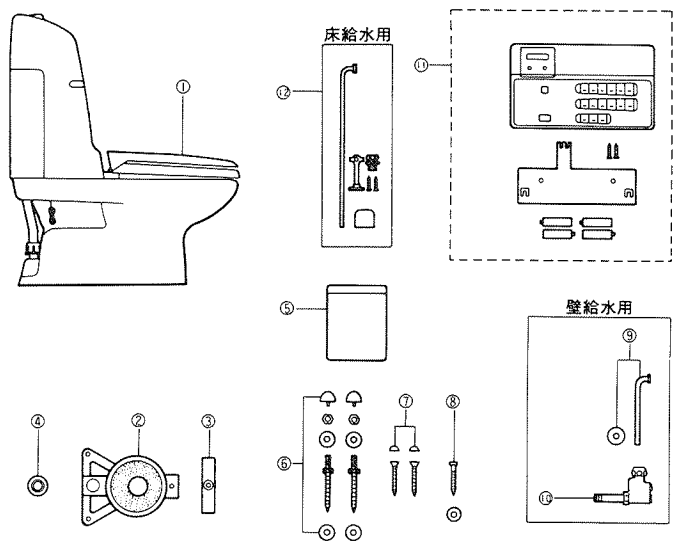
標準施工図



※床給水の場合、給水管が破線表示となっています。
※紙巻器（CF-22H）は別途ご用意ください。

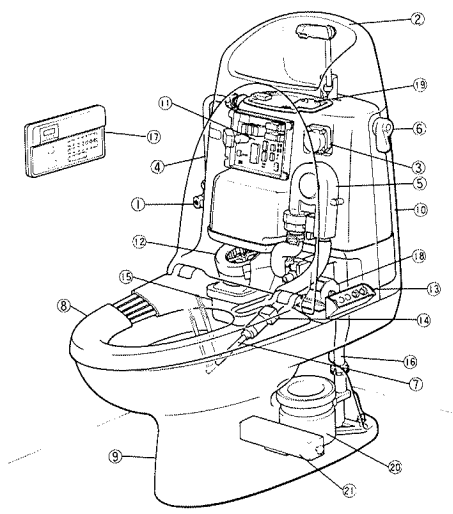
部品の確認（梱包内容を確認してください。）

施工前に不足している部品がないことを確認してください。



① 便器アッシー	⑤ マニュアルセット	⑨ サプライ管
② 排水ソケット	⑥ 化粧キャップ付ねじ(大)	⑩ 止水栓
③ 固定用部材	⑦ 化粧キャップ付ねじ(小)	⑪ リモコンセット
④ ソケットカバー	⑧ 木ねじ	⑫ 寒冷地用給水管

各部の名称



① 止水栓	⑧ 暖房便座	⑮ 温水タンク
② タンクカバー	⑨ 便器	⑯ 脱臭ダクト
③ フラッシュモータ	⑩ 洗浄タンク	⑰ リモコン
④ 便フタ	⑪ コントロール基板	⑱ 電磁ポンプ
⑤ 脱臭ファン	⑫ 温風ファン	⑲ 風圧スイッチ
⑥ 洗浄ハンドル	⑬ 副操作スイッチ	⑳ 排水ソケット
⑦ 洗浄ノズル	⑭ チャーム用モータ	㉑ 固定用部材

株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎ 06-532-6081
南九州支社 ☎096-322-1794

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。 ●お客さまの方に必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

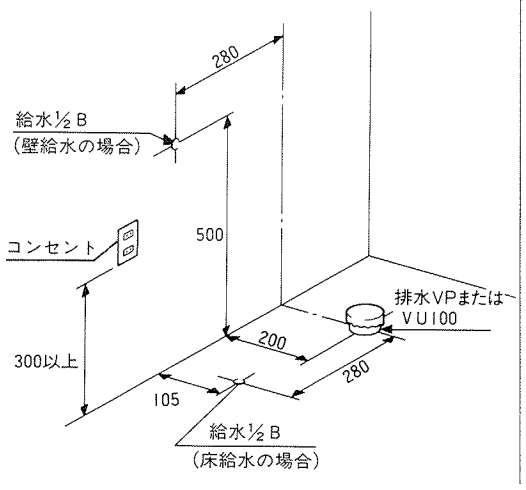
施工方法

1 給排水の位置決め・取出し

下図に従って給水管、排水管を取り出します。

注意

- 器具取付け前に給水管、排水管内に異物が混入しないように給水管にはプラグ(LF-7T)、排水管にはビニール袋などでカバーしてください。
- 排水芯が壁から200㎜より小さくならないように排水管を取り出してください。

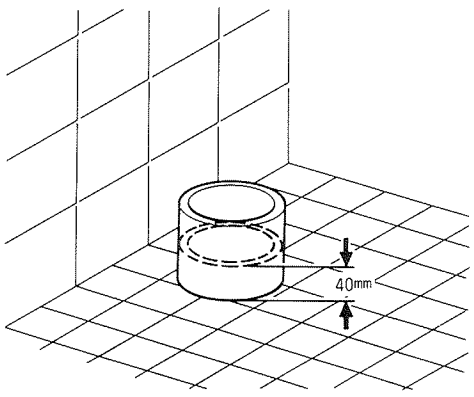


2 排水塩ビ管の切断

壁、床の仕上げの完了後、床仕上げ面より約40㎜の位置で排水塩ビ管を切断します。

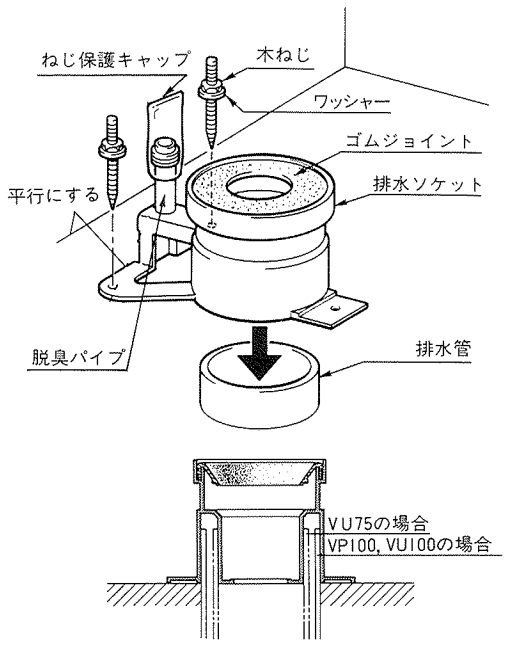
注意

- 排水塩ビ管は、床仕上げ面と平行になるように切断してください。
- 排水塩ビ管が30㎜以下になると、臭気や漏水の原因となることがあります。



3 排水ソケットの取付け

塩ビ管用接着剤にて排水ソケットを直接排水管に接着し、木ねじにて床に固定します。

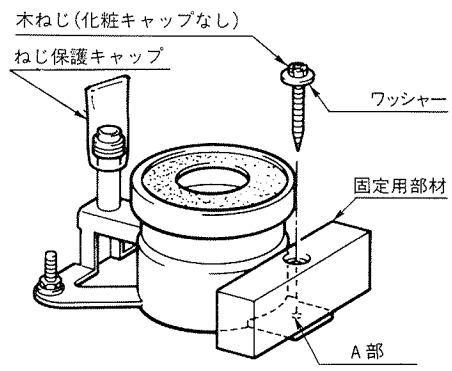


注意

- 脱臭パイプの中に防虫網が入っています。落さないように注意してください。

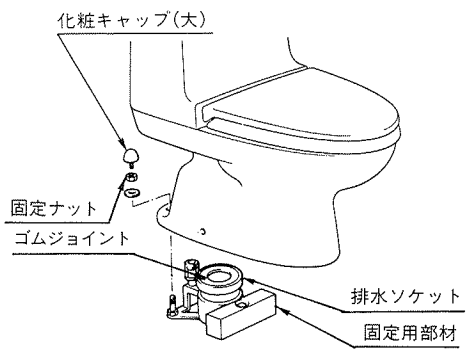
4 固定部材の取付け

排水ソケットのつば（A部）に固定用部材を乗せ、木ねじにて固定します。

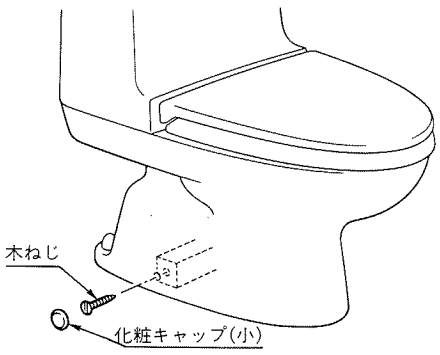


5 本体の取付け

(1)本体の排水口をゴムジョイント部に差し込み、固定ナットにて固定します。

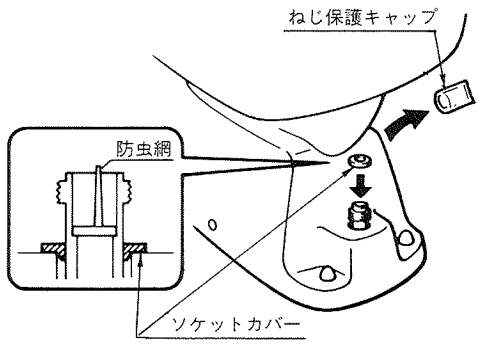


(2)便器側方より木ねじでしっかりと固定します。

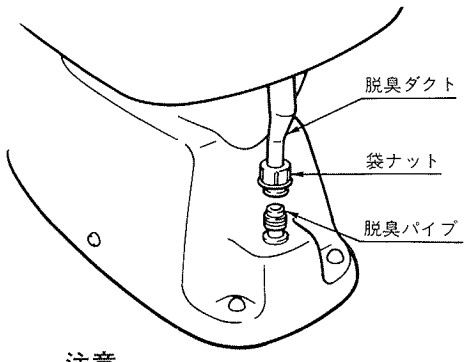


6 脱臭ダクトの接続

(1)排水ソケットの脱臭パイプからねじ保護キャップを外し、ソケットカバーを陶器にあたるまではめ込みます。



(2)脱臭ダクトを脱臭パイプに差し込み、袋ナットを手でしっかりと締め付けます。



注意

- 脱臭ダクトのつばが、必ず脱臭パイプ上面にあたるようにして、締めてください。
- 脱臭パイプ内の防虫網をかたむけないように注意してください。

7 給水管への接続

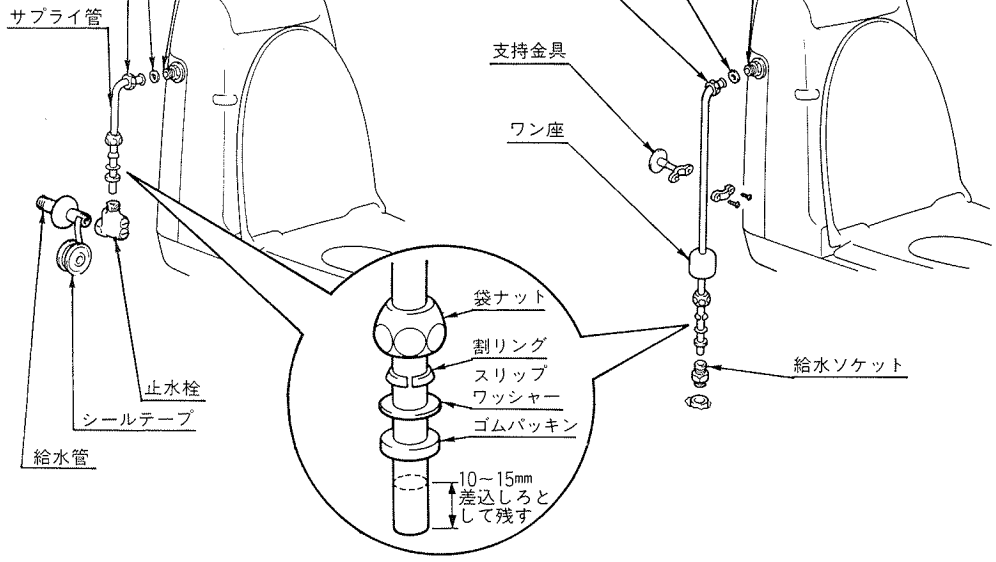
壁面に取り出した給水管に止水栓を取付け、ボールタップと止水栓をサプライ管にて接続します。

注意

- 止水栓を給水管に取り付ける際にはねじ部にシールテープ等のシール材を巻きつけてください。
- サプライ管のつば部は絶対に切断しないでください。
- サプライ管の止水栓への接続は現物合わせにして、止水栓への差込しろとして10～15㎜残して切断してください。
- サプライ管切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗い等で完全に切粉を取り除いてから接続してください。

〔標準・流動式〕

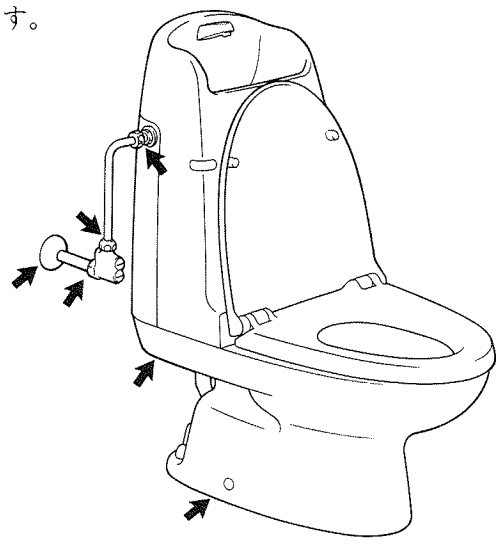
〔水抜式〕



8 水漏れ、鉢内洗浄点検

(1)洗浄ハンドルを操作して便器鉢内の洗浄を数回行い、各接続部に漏水がないことを確認します。このとき、ハンドルの戻り具合、ボールタップの作動なども確認します。

(2)便器鉢内に長さ760㎜のトイレットペーパーを丸めたものを７個入れ、これが１回の洗浄で排出できることを確認します。もし、１回で排出できない場合は、フロート弁、その他の内部金具を点検します。

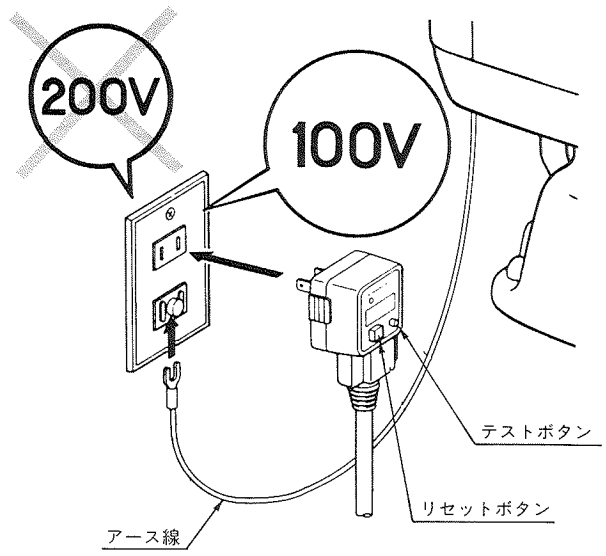


注意

排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

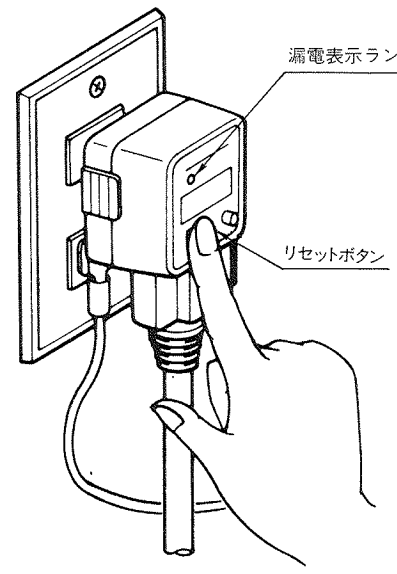
9 漏電保護プラグの取付け

(1)本体左後部のアース線をコンセントのアースねじに接続します。



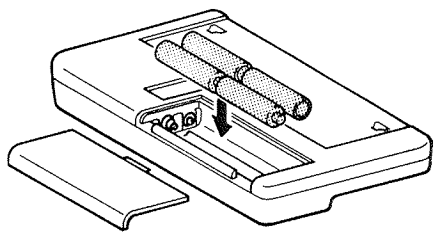
(2)漏電保護プラグをコンセントに差し込みます。

※テストボタンを押せば漏電表示ランプが点灯し、リセットボタンを押せば漏電表示ランプが消灯することを確認します。



10 リモコンスイッチの取付け

(1)リモコンに付属の乾電池（単三４本）を入れます。



(2)リモコンを取り付けようとする位置にリモコンを置き、ストップスイッチやドライスイッチを押したとき便器側より〝ピッ〟という電子音がするのを確認します。

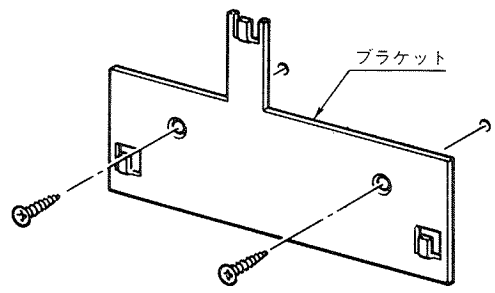
注意

この際、シャワーやチャームのスイッチを押すと水が噴出しますので注意してください。

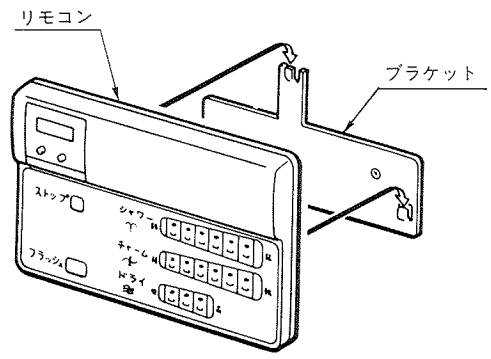
(3)漏電保護プラグをコンセントから抜きます。

※試運転までは安全のため、電源を切っておきます。

(4)ブラケットをリモコンを取り付ける位置に付属の木ねじでしっかりと固定します。



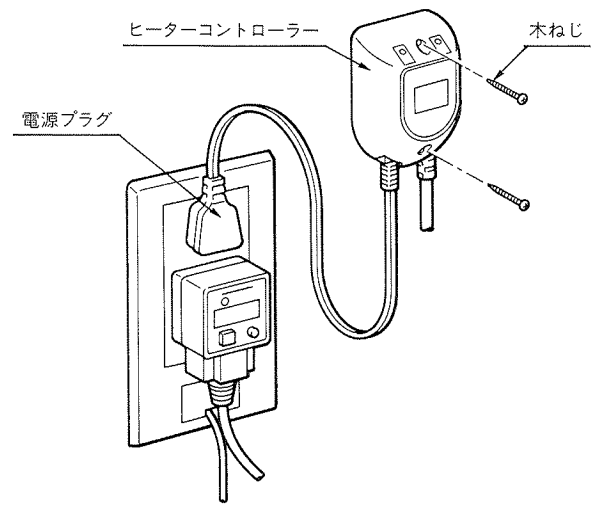
(5)リモコンをブラケットに合わせて押し付け、下にさげて固定します。



11 ヒーターコントローラーの取付け（ヒーター付便器の場合）

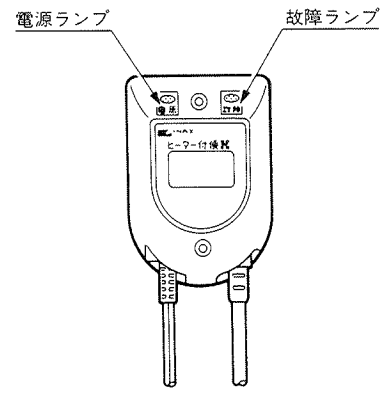
(1)木ねじによりヒーターコントローラーを固定します。

（ダブルフラット型コンセントをご使用ください。）



(2)電源プラグをコンセントに差し込み、電源ランプが点灯することを確認します。

また、故障ランプが消灯していることを確認します。

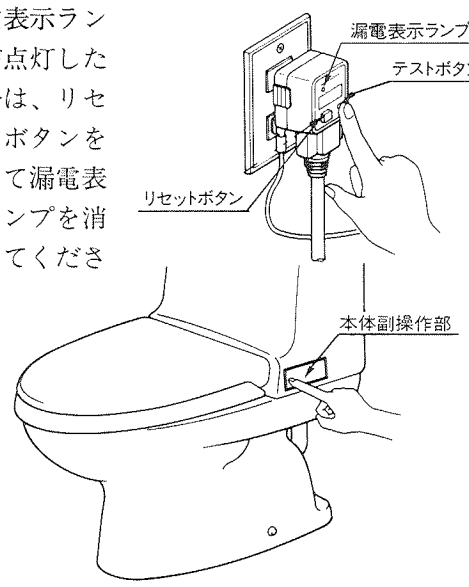


試運転（便器の施工が終わったら、次の要領にて試運転を行います。）

1 シャワー洗浄・温水の確認

(1)漏電保護プラグをコンセントに差し込みます。を

※漏電表示ランプが点灯した場合は、リセットボタンを押して漏電表示ランプを消灯してください。



(2)本体副操作部を指で押して開け、温水ダイアルを「高」の方向へ回します。

(3)5分程待ったあとで便座（着座スイッチ部）を手で押さえながらリモコンのシャワースイッチのいずれかを押して、シャワーが周囲に飛び散らないように手のひらで受けます。このとき噴出水が温かいことを確認します。ストップスイッチを押すとシャワーが停止します。

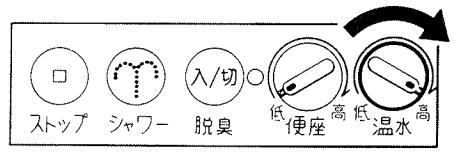
※温水になっていない場合は、温水タンクが満水になっていない恐れがありますので便器洗浄を3～4回くりかえし行ってください。

※着座スイッチが安全装置になっていますので便座に荷重が加わらないと「シャワー」・「チャーム」・「ドライ」・「脱臭」のスイッチは入りません。

(4)便座を手で押さえながらリモコンのチャームスイッチのいずれかを押すと、「シャワー」よりも35㎜前にノズルが伸びてシャワーが噴出します。ストップスイッチを押すとチャームが停止します。

(5)スイッチを押し替えてシャワーの強さが変わることを確認します。

(6)温水温度が適温でないときは、本体副操作部を指で押して開け、温水ダイアルを回して温度を調節します。



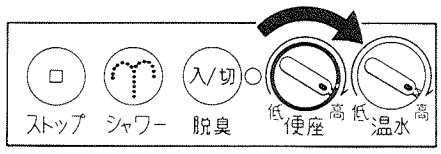
2 温風乾燥の確認

(1)便座を手で押さえながらリモコンのドライスイッチのいずれかを押すと便座後部より温風が吹き出します。

(2)スイッチを押し替えて温風温度が変化することを確認します。ストップスイッチを押すとドライが停止します。

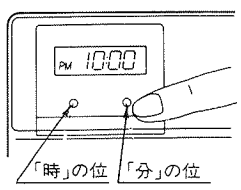
3 暖房便座の確認

本体副操作部を指で押して開け、便座ダイアルを「高」にして約5分ほどで暖かくなれば正常です。



4 時計の調節

時計の下にあるスイッチを押して正しい時刻にします。



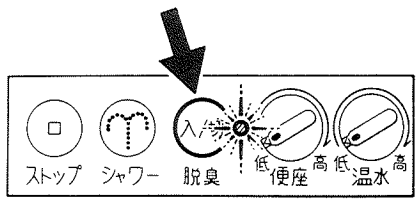
5 排気脱臭の確認

（アメージュ脱臭シャワートイレの場合）

(1)本体副操作部の脱臭スイッチを押して「入」(点灯)にします。

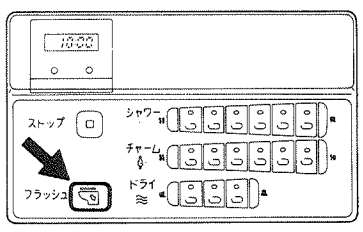
(2)便座を手で押して脱臭ファンの作動音を確認します。

※着座スイッチによって作動しますので、便座に座ると排気脱臭をします。そして立ち上がって約1分後に自動停止します。



6 フラッシュによる便器内洗浄の確認

リモコンのフラッシュスイッチを押して便器内洗浄を行うことを確認します。



タンクカバーの取外し方

内部金具を調節する場合

試運転後、「止水位の調節」や「手洗吐水量の調節」を行う場合は、下記取外し手順によりタンクカバーを外して調節してください。

①便座・便フタを開けます。

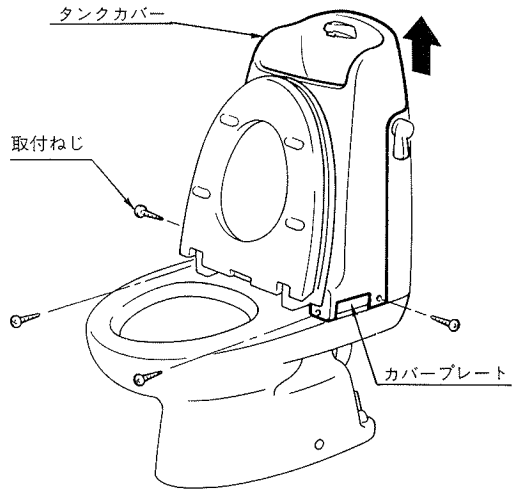
②タンクカバーの取付ねじ4本を外し、タンクカバーを持ち上げて取り外します。タンクカバー取外し後、内ブタを外し（ねじ2本）、内部金具を調節してください。調節後は内ブタを取り付け（ねじ2本）下記取付け手順によりタンクカバーを取り付けてください。

取付け手順

①タンクカバーを上方向より、押し込んで取り付けます。

②カバープレートを下方向より差し込みます。

③タンクカバーの取付ねじ4本を締めます。



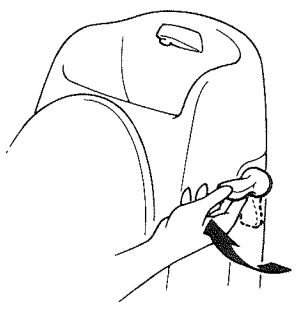
長期間使用しない場合のご注意

施工後、長期間使用しない場合は、下記の要領で必要箇所の水を抜いてください。
※温水タンク内の水が汚れたり、冬期には凍結して破損する恐れがあります。

1.ロータンク内の水抜き

(1)止水栓を閉めて、ロータンクへの給水を止めます。
（寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。）

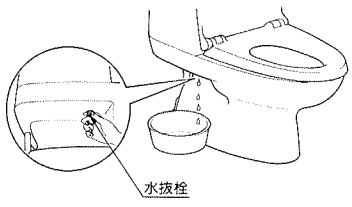
(2)ロータンクのハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。



2.温水タンク内の水抜き

(1)温水スイッチを「切」にします。

(2)本体左手前にある温水タンクの下に洗面器等を置きます。
温水タンク水抜栓を手で左に回して取り外し、温水タンク内の水を抜き取ります。



(3)温水タンク水抜栓を取り付けます。